

シグマインベストメントスクール1級取得講座 専門科・研究科 第110期のご案内

(平成30年5月開講)

シグマインベストメントスクール通学コースはアカデミックな金融理論を実務に橋渡し致します。
斯界より高い評価を得ており、お蔭様で第110期を迎えることになりました。是非ご検討下さい。

■「研究科」金利モデルコース

マルチンゲール・アプローチによるデリバティブ価格理論をベースに、Black-SholesからLibor Market Model まで、デリバティブにおける主要なモデルについて学べるコースです。特に、金利モデルについては、講師の長年の実務経験に裏付けされた他に類を見ない懇切丁寧な解説により、理論の本質と実務へのインプリケーションを学ぶことができます。

■金融リスク管理コース

リスク管理のために必要な確率統計やファイナンス理論をしっかりと習得した上で、市場リスク及び信用リスクの定量的分析方法について実践的に学ぶコースです。金融リスク管理のエキスパートを目指すビジネスパーソン、あるいは理論的な知識をしっかりと身に付けたい管理部門の方などに最適のコースです。

■スワップコース

金利の基礎知識から始まり、スワップ・ポジションの時価評価、リスク管理まで体系立ったプログラムにより、初学者の方でもエキスパートに養成します。OISディスカウント、CVAなど近時話題になっているテーマも取り上げ、実務の先端の動きにも対応できるカリキュラムです。

シグマベイスキャピタル株式会社

〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町2-9-8 茅場町第2平和ビル3F

TEL:03-3665-8193 FAX:03-3665-8192

<http://www.sigibase.co.jp/>

第 1 1 0 期専門科開講にあたって

シグマインベストメントスクールは開校以来約 2 5 年間にわたり、我が国唯一の実践金融・投資・企業財務理論の専門教育機関として高いご評価を頂いて参りました。現在では、官公庁や内外の金融機関をはじめ、3 0 0 社を超える企業様とその従業員の方々にご利用頂いています。

このたび、おかげさまで第 1 1 0 期専門科の開講を迎える運びとなりました。当期も各分野で突出した業績・研究成果を挙げている講師陣のもと、“実務に役立つ理論修得”を命題に、基礎から最先端に至る理論と実務への応用コースを開講します。

カリキュラム編成・講義内容・講師の選定には、特に注意を払い運営を行っています。講義の質の維持向上と同時に受講生のご要望にもお応えするため、毎回の講義終了時に頂くアンケート結果を次回講義に反映させつつ、常にベストな講義の実施を心掛けています。

我が国の人口ピラミッドと社会・経済構造の急激な変化は、金融業務・投資業務・企業財務運営のありかたにも抜本的変革を要求するに至っています。高品質で時代要請に即した当該教育への企業ニーズと重要性は、ますます増大するものと考えています。このような基本認識の下、当スクールでは今後ともその使命を全うすべく日々精進して参ります。

第 1 1 0 期専門科につきましても、貴社人材育成の一助としてご活用頂きますようお願い申し上げます。



平成 30 年 3 月
シグマベースキャピタル株式会社 代表取締役社長
シグマインベストメントスクール 学長
清水 正俊

〜〜 シグマインベストメントスクールの特徴 〜

- 弊社講師陣、実務プロフェッショナル並びに学識者で構成される一流講師陣による講義。
- 当社研究開発部による最新金融技術・理論及び実証研究のスクールへのフィードバック。
- 専門科・研究科を頂点とした体系的カリキュラム（入門レベル、Σ 3 級レベル、Σ 2 級レベルの通信教育講座は開講以来 26 年余で約 300 の官公庁、銀行、証券会社等の金融機関を始め、事業法人等に幅広く採用され、多数の受講者を迎えております）。
- 全講義終了後にはΣ 1 級検定試験を実施し、受講生および派遣責任者の方へ目に見える形で成果をフィードバック。
- 修了レベルに達しない受講生に対する責任教育（Σ 1 級検定試験不合格の場合は、次期開催コースに無料で編入）。
- 専用教室を有し、受講生 1 人に 1 台ずつパソコンを配するなど充実した教育環境を提供。

内容

シグマインベストメントスクール教育体系について	2
スクール説明会のご案内	2
実施スケジュール	2
実施概要	2
第 110 期専門科開講コースのご案内	3
開講予定コース	3
料金体系	3
専門科・研究科 年間開講予定コースのご案内【2018 年 3 月現在】	3
入学手続き	4
運営概要	4
パソコンの取り扱いについて	4
事前配布資料	4
企業派遣による受講手続きの流れ	5
会場 シグマインベストメントスクール教室／茅場町第 2 平和ビル 3 F	5
「研究科」 金利モデルコース のご案内	6
金融リスク管理コースのご案内	8
スワップコース のご案内	10
第 110 期 専門科 講師陣のご紹介（コース順）	12
個人情報保護方針	13

シグマインベストメントスクール教育体系について

シグマインベストメントスクールは初級～中級者向けの通信教育と、上級者向けの通学制スクール（専門科・研究科）から構成されており、各段階に応じたきめ細かい教育を行っております。

シグマ・1 級スペシャリストコース（通学制スクール・研究科） スペシャリスト育成
シグマ・1 級コース（通学制スクール・専門科） プロフェッショナル育成



シグマ・2 級コース（通信教育） 実務応用力養成



シグマ・3 級コース（通信教育） 基礎理論修得

スクール内教室における通学制をはじめ、各種公開講座、企業からの受託研修、通信教育、出版部門による書籍等、様々な形態やオリジナル教材で、様々なコースを勉強していただけるよう体制を整えています。
※通信教育の内容については、別途配布している通信教育用パンフレットをご覧ください。

スクール説明会のご案内

実施スケジュール

下記日程で講義見学を含むスクール説明会を随時開催しております。弊社担当者からスクールに関する説明を行った後、実際の授業にご参加いただいて「専門科」講義を体験していただくことが可能です。
説明会は事前予約制となっております。下記一覧からご希望日をお選びいただき担当者までご連絡ください。

コ ー ス 名	開 催 日	備 考
オプションコース	平成 30 年 4 月 5 日（木）	オプションコースは、第 110 期の設置コースではありませんので、ご注意ください。
	平成 30 年 4 月 19 日（木）	
クレジットリスク分析コース	平成 30 年 4 月 2 日（月）	クレジットリスク分析コースは第 110 期の設置コースではありませんのでご注意ください。
	平成 30 年 4 月 23 日（月）	

担当：教育開発部 花岡 電話：03-3665-8193

※ 説明会の開催時間は、18:10～19:00 です（要予約）。

※ 上記日程以外でもご相談を承ります。弊社担当者までお気軽にお問合せください。

※ 開催場所：シグマインベストメントスクール教室 P9 参照

実施概要

1. 弊社担当者からスクールのご説明
2. 質疑応答
3. 実際の講義見学（30 分程度）

※ 全所要時間は約 50 分程度です。

第 110 期専門科開講コースのご案内

開講予定コース

第 110 期開講予定コース（平成 30 年 5 月開講）は下記の 3 コースです。

コース名	講義時間	講義回数	募集人数	開講日
「研究科」金利モデルコース	33 時間	10 回＋試験	25 名	平成 30 年 5 月 18 日（金）
金融リスク管理コース	33 時間	10 回＋試験	25 名	平成 30 年 5 月 14 日（火）
スワップコース	33 時間	10 回＋試験	25 名	平成 30 年 5 月 17 日（木）

（注）募集人数は再受講者を含む人数です。

料金体系

入学金 専門科を初めて受講される方は、入学金10,800円（税込）が必要となります。

受講料 クレジットリスク分析コース、オプションコースは378,000円（税込）です。

各種割引制度

＜シグマインベストメントスクール通信教育講座修了者に対する特典＞

- 過去にご受講いただいた弊社の通信教育が、お申し込みいただいた「専門科」のコースで事前配布資料に指定されている場合、上記料金より当該通信教育受講料を全額控除させていただきます。
お申し込みの際に、弊社通信教育をご受講いただいた際の受講番号をご記入ください（指定通信教育コース名についてはP4をご参照ください）。

＜入学金免除＞

- 同一受講生が過去に他のコースをご受講の際は入学金を免除致しますので、認定証等、受講歴が確認できるものをご呈示ください。
- 過去 2 年間（8 期）以内に受講生の派遣実績がある法人の受講生につきましては、入学金を免除致します（個人申込の場合は、対象になりませんのでご了承ください）。
- 同一受講生が 2 コース以上同時受講、あるいは 2 名以上同時派遣される場合は、入学金を免除致します。

専門科・研究科 年間開講予定コースのご案内【2018 年 3 月現在】

シグマインベストメントスクールは、次回以降下記の通り専門科・研究科（第 111 期～第 112 期）各コースの開講を予定しています。是非、年間研修計画の中で取扱いのご予定を頂きたいお願い申し上げます。

第 111 期 平成 30 年 7 月中旬開講 （平成 30 年 12 月上旬終了） 原則、隔週開催 全 10 回講義＋検定試験 18:00～21:00（各回 3 時間）	開講予定コース	① 金融工学コース ② クレジットリスク分析コース ③ オプションコース ④ 企業価値評価コース
	会場	シグマインベストメントスクール教室
	募集人数	各コース 25 名（注）再受講者を含む募集人数です。
	案内書	第 111 期専門科案内書は、平成 30 年 6 月上旬掲載予定です。

第 112 期 平成 30 年 10 月中旬開講 （平成 31 年 3 月上旬終了） 原則、隔週開催 全 10 回講義＋検定試験 18:00～21:00（各回 3 時間）	開講予定コース	① 金融リスク管理コース ② コーポレート・ファイナンスコース ③ スワップコース ④ イールドカーブ分析コース
	会場	シグマインベストメントスクール教室
	募集人数	各コース 25 名（注）再受講者を含む募集人数です。
	案内書	第 112 期専門科案内書は、平成 30 年 9 月上旬掲載予定です。

（注）事情により開講コースが変更となる場合があります。

確定した各期開講コースにつきましては、別途発行の各期専門科・研究科案内書にてご確認ください。

入学手続き

- ・お申込書をFAXにてお送りいただくか、または弊社ホームページからのお申し込みください。
(URL <http://www.sigmabase.co.jp>)
- ・各コースとも定員になり次第、受付を終了させていただきます。また一定の人数に達しないコースは開講日の1週間前までに未開講の旨をご連絡しますのでご了承ください。
※開講日の1週間前の時点で5名以上の参加が見込めることが開講決定の目安となります。
- ※法人内部での承認や派遣者（受講者）の調整が必要等の理由で、開講日1週間前までに正式なお申込が出来ない場合には、事前にその旨をご連絡頂ければ予約者としてお席を確保させていただきます。
- ・お申込みコースの開催確定後、入学金、授業料の請求書をお送り致しますので、所定の金額を全納してください。(お支払いの取り扱いについては、P7をご確認ください)
- ・講義充実の観点から第一線で活躍している実務家を講師に選任している場合があります、海外出張等により講義日程、あるいは講師を途中で変更させていただく場合がございます。あらかじめご了承ください。
- ・専門科中途退学の場合、または何らかの事情による途中閉講の場合、当初に納入された授業料の合計額を全授業回数で除し、未受講回数分に相当する金額を返金致します。ただし、入学金は返金致しません。
- ・受講期間中、勤務先、部署、自宅住所等、ご連絡先の変更があった場合には必ずお知らせください（講師急病等による突然の休講等の場合、緊急にご連絡する必要がございます）。ご協力お願い致します。
- ・マーケット環境により、カリキュラムをより実際に即した内容に変更する場合もございます。あらかじめご了承ください。

運営概要

- ・お申し込み後、開講日の約1週間前よりP4記載の事前配布資料を送付致します。
- ・講義終了時には毎回アンケートを実施し、以降の講義方針に反映させます。
- ・講義内容に関するご質問は第1回講義前に、教務メールアドレスをご案内しますので、メールでも受付致します。
- ・全コース、全講義終了後に「シグマ業務検定1級試験」を実施します。
- ・不合格の場合は次期以降開催の同一コースに無料にて参加いただくことが可能です。(ただし1期のみ)
(諸事情により開講されない場合もございますので予めご了承ください。)
- ・業務等により都合で出席できなかった方には、記録用として作成しているDVDを無料で3回までお貸し致します(ただし、DVD学習はあくまで次善的手段としての位置付けです。画像・音声の質は保証致しかねますので、極力講義へのご出席をお願い致します。また、貸出致しましたDVDは学習後、返却していただきます)。

パソコンの取り扱いについて

シグマインベストメントスクールでは講義において、パソコン・Excelを使用致します。

事前配布資料

第1回講義の約1週間前に、事前配布資料を送付致します。

開講コース	事前配布(通信講座コース)教材
「研究科」金利モデルコース	—
金融リスク管理コース	バリュー・アット・リスクの基礎知識
スワップコース	スワップ業務Ⅱ3級コース

※お申し込みコースで上記通信講座コースを既にご受講いただいている場合、当該金額（受講料分）を割引致します。

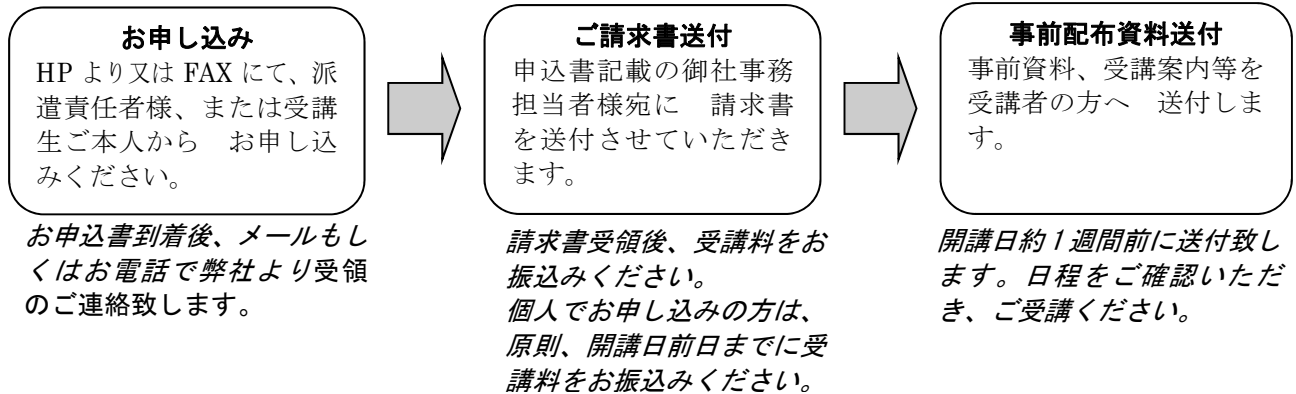
※講義資料の配布について

第1回講義時に、第1回及び第2回講義資料を配布します。以降、各回講義時に次回分の講義資料を配布します。

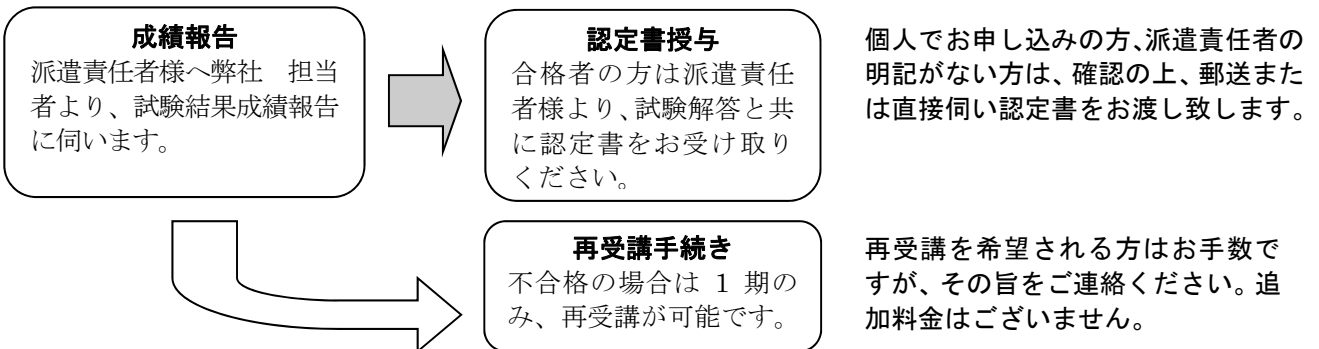
(注)「スワップコース」は、基本テキストを第1回講義時に配布します。

企業派遣による受講手続きの流れ

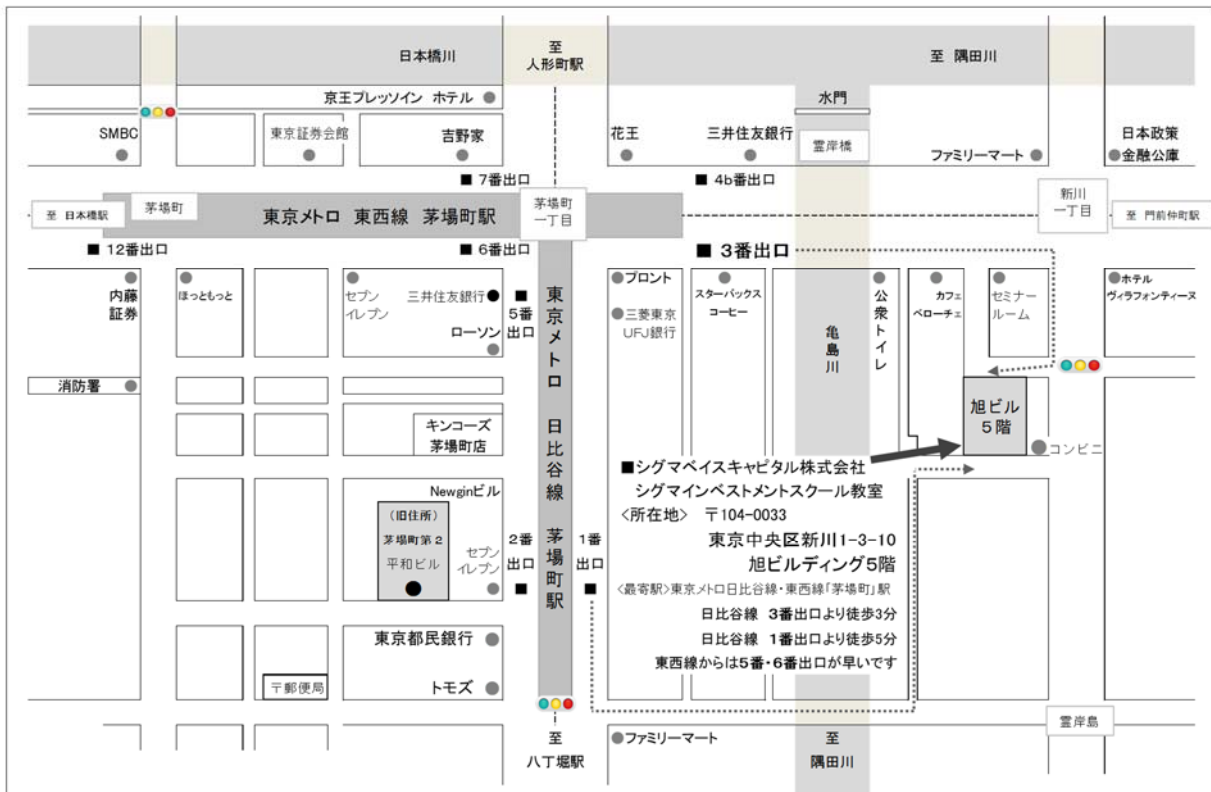
◆ ご受講まで



◆ 修了試験後



会場 シグマインベストメントスクール教室／旭ビル5F ※2018年5月移転します。



1級スペシャリストコース

「研究科」 金利モデルコースのご案内

■本コースの特徴

- ・デリバティブ価格理論の本質である、マルチンゲール・アプローチに基づき、主要な金利モデル及び Black-Sholes 等の重要なデリバティブのモデルについて習得できるコースです。
- ・特に金利モデルについては、実務・理論の両面に精通した講師が、一般書籍や他のセミナーには類を見ない親切かつ丁寧な説明を行い、実務的な観点からの深い知識を習得することができます。
- ・前半でデリバティブ価格計算ロジックの基礎を成すマルチンゲール・アプローチと必要な確率統計理論についての説明を行い、デリバティブ・プライシング全般についても体系的な知識を学ぶことができます。
- ・理論の修得だけで終わることがないように、随時実務的な観点からも説明を加え、実務上のインプリケーションについても、効率的な計算方法などを指導します。

■受講対象者

- ・デリバティブ業務、リスク管理業務、金融商品開発業務等の担当者の方で、高度なデリバティブの知識を必要とされている方
- ・デリバティブ評価システム等の金融システム開発担当の方
- ・金融理論研究者の方。高度なデリバティブ理論の習得を目指す方
- ・弊社専門科オプションコース、金融工学コースなどの卒業生の方

■実施スケジュール

- ・第110期：平成30年5月開講、6ヶ月コース、全10回講義＋検定試験（各3時間）

	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	試験
日付	5/18 (金)	5/25 (金)	6/8 (金)	6/22 (金)	7/6 (金)	7/20 (金)	7/27 (金)	8/24 (金)	9/7 (金)	9/21 (金)	10/5 (金)

※時間 18:00～21:00

※会場 シグマインベストメントスクール教室

※第1回と第2回および第6回と第7回は2週連続での実施となりますのでご注意ください。

■担当講師陣

講師 横浜国立大学 成長戦略研究センター客員教授 経済学博士 村上 秀記（第1回～10回）

■「研究科」金利モデルコース／カリキュラム

第1回 マルチンゲール・アプローチの概要

1. オプションプライシング理論の歴史
2. マルチンゲール
3. 無裁定の定義
4. 資産価格の基本定理 I
5. マルチンゲール・アプローチの概要
6. 二項モデルとマルチンゲール・アプローチ

第2回 ブラウン運動と伊藤の公式

1. ブラウン運動
2. 資産価格のモデリング
3. 二次変分
4. 伊藤の公式
5. 確率積分

第3回 マルチンゲール・アプローチによる Black-Scholes 式の導出

1. ギルザノフの定理
2. マルチンゲール表現定理
3. 伊藤の商の公式
4. Black-Scholes式の導出 (1)
5. ニューメーレルと測度の変換
6. Black-Scholes式の導出 (2)

第4回 Black-Scholes 式の拡張

1. Black-Scholes式の復習とイメージ
2. フォワード価格を原資産としたBS式 (Black76)
 - ・ペイオフの確定と支払いにラグがある場合
 - ・株で連続・離散配当のある場合
 - ・為替レートが原資産の場合
 - ・金利が原資産の場合 Cap/Floor
3. フォワードと先物の違い

第5回 エキゾチック・オプション

1. オプションのペイオフの数学的な表現
2. エキゾチック・オプション各論
(ペイオフ・歴史・使用法・プライシング)
3. クオント・オプションの価格式導出の詳細
4. バリア・オプションのヘッジの問題と価格式の導出の詳細

第6回 金利、債券の基礎概念・表記法

1. 色々な金利の数学的定義とその関係、表記法
2. 二次元表面を用いた図示
3. 債券をまず中心に考えることについて
4. Money Market Account、Short Rate、Forward Rate
5. Zero (Coupon) Yield、(Zero Coupon) Bond Price

第7回 金利スワップとスワップション

1. 金利スワップ
2. Forward Libor RateとForward Swap Rate
3. Liborの評価と、金利スワップの評価
4. Swaptionのプライシング
5. 金利モデルの全体像
6. 行列のスペクトル分解の復習

第8回 Vasicek / Hull & White モデル

1. 教科書的な債券価格の解析解の導出
2. より実戦的な債券価格の解析解とLGMモデル
3. Markov-Functional ModelとしてのHull-Whiteモデル
4. 債券オプション (=金利キャップ・フロアー) の解析解の導出
5. Semi-Analytical Latticeによる高速な計算

第9回 Heath-Jarrow-Morton Model

1. FrameworkとしてのHJMモデル
2. 債券価格のダイナミクスの導出
3. 無裁定条件と、“HJMのMain Result”の導出
4. Fleasaker-HughstonによるHJMモデル
5. 他の金利モデルとの関係

第10回 Libor Market Model

1. Brace, Gatarek, Musielaのオリジナルなアプローチ
2. JamshidianによるLibor Market Model
3. 内積、ベクトル、総和、行列などを用いた色々な表現
4. ドリフト項の導出
5. ドリフト項の近似とシミュレーション

第11回 「研究科」金利モデルコース シグマ1級スペシャリスト検定試験

※テキスト等の持ち込み不可。

但し、事前に問題集を配布し、その中から出題。

金融リスク管理コースのご案内

■本コースの特徴

- ・金融リスク管理、リスク定量分析業務に必要な知識を、理論的な基礎知識から規制内容等の実務知識まで幅広く学べるコースです。
- ・前半では、リスク定量化の基本的な考え方、必要な確率・統計知識などを学び、さらに、各種リスク定量化のベースともなる分散共分散法（デルタ法）によるVaR計算について具体的に学びます。
- ・後半では、金融機関のリスク管理の最重要ポイントである信用リスク管理について、実務的な視点からの講義が行われます。実際に金融機関で幅広く行われている手法を前提に、経験豊富な専門家が、計算手法の本質的な意味内容や実施上のポイント、課題などを丁寧に説明致します。
- ・最後に、モンテカルロ・シミュレーションや、時系列モデルによるリスクパラメーターの推定などやや応用的な話題を説明し、さらにバーゼル規制について近年の課題を中心に説明致します。
- ・講義はエクセル計算演習などをふんだんに取り入れ、実務的、実践的な視点による理解を重視して行います。初心者から実際に実務を担当している方まで幅広い層に役立つプログラム内容になっています。

■受講対象者

- ・リスク管理業務担当者、監督者、金融システム開発者、あるいはこれらをめざすビジネスパーソンの方に最適のコースです。

■実施スケジュール

- ・第110期：平成30年5月開講、6ヶ月コース、全10回講義＋検定試験（各3時間）

	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	試験
日付	5/14 (月)	5/29 (火)	6/12 (火)	6/26 (火)	7/3 (火)	7/17 (火)	7/31 (火)	8/28 (火)	9/4 (火)	9/18 (火)	10/2 (火)
担当講師	田渕	藤田		田渕		尾藤			田渕		

※時間 18:00～21:00

※会場 シグマインベストメントスクール教室

※第1回のみ月曜日での実施となります。また、第4回と第5回および第8回と第9回は2週連続での実施となりますのでご注意ください。

■担当講師陣

講 師	シグマベイスキャピタル株式会社特別研究員フェロー	田渕 直也	(第1, 4, 5, 9, 10回)
講 師	シグマベイスキャピタル株式会社特別研究員 慶応義塾大学経済学部教授	藤田 康範	(第2, 3回)
講 師	日本リスク・データ・バンク株式会社取締役常務執行役員	尾藤 剛	(第6回～8回)

■金融リスク管理コース／カリキュラム

第1回 金融リスク管理入門

1. 金融リスク概観
2. リスク管理に必要な確率・統計基礎知識
 - ・期待値
 - ・分散・標準偏差
3. リスク計量の基本的な考え方と課題

第2回 確率・統計に関する予備知識（1）

1. 正規分布
2. 変数変換と標準正規分布
3. 共分散と相関係数

第3回 確率・統計に関する予備知識（2）

1. 分散共分散行列
2. ポートフォリオのリスク計算
3. サンプルデータからのパラメーター推定
4. 不偏推定量
5. 最尤推定量

第4回 VaR計算の基礎（1）

1. 株式ポートフォリオのVaR計算
2. 回帰分析の考え方によるリターンのモデル化
3. シングルファクターモデルによるリスク分析
4. マルチ・ファクター・モデル
5. マルチ・ファクター・モデルの構築と多重回帰分析

第5回 VaR計算の基礎（2）

1. 債券ポートフォリオのリスク把握の考え方
2. 感応度（デュレーション）を使った価格変動表現
3. デルタ法による債券ポートフォリオVaR計算
4. デュレーションの数学的背景とコンベクシティ

第6回 信用リスクの概観

1. 信用リスクとは？
2. 信用リスク管理業務の全体像
3. 信用リスクパラメータとは？
4. 信用リスクモデルの活用

第7回 信用リスクモデル

1. デフォルト率推計モデルの概要
2. ロジスティック回帰モデルの構築から検証まで
3. 回収率計測モデルの概要
4. 企業価値モデルと非予想損失の計算

第8回 信用リスクマネジメント

1. 自己資本比率規制と信用格付制度
2. 債務者格付制度とPD推計
3. 案件格付制度とLGD推計
4. 信用リスク管理の今後の課題

第9回 モンテカルロ・シミュレーションによるリスク評価

1. 市場リスクの計測手法の特徴と限界
 - ・センシティビティ法とフルバリエーション
 - ・パラメトリック法とヒストリカル法
2. 時系列モデルと幾何ブラウン運動
3. パラメータの推定について
4. マートンモデル（構造モデル）による信用リスクの測定

第10回 リスク管理の課題とバーゼル規制の動向

1. バーゼル規制の概要
2. リスク管理における新たな課題
 - ・相関リスク
 - ・証券化・再証券化のリスク
 - ・カウンターパーティリスク（PFEとCVA）
 - ・誤方向リスク
 - ・流動性リスク
 - ・相互依存関係の管理（システミックリスクとG-SIBs規制）
 - ・ボルカールール
 - ・レバレッジ規制
 - ・期待ショートフォール
3. リスク管理の限界と規制の動向

第11回 金融リスク管理コース シグマ1級検定試験

スワップコースのご案内

■本コースの特徴

- ・金利の基礎知識から始まり、スワップ・ポジションの時価評価、リスク管理まで体系立ったプログラムにより、初学者の方でもエキスパートに養成するカリキュラム編成を行っております。
- ・従来のスワッププライシングのみならず、OIS ディスカウントなど近時話題になっているテーマや、CVA などリスク管理周辺の話題も取り上げ、実務の先端の動きにも対応できるカリキュラムとしております。
- ・実際の商品例、ケーススタディ、パソコン演習を取り入れた実践的教育を行ないます。パソコン演習では、実際の金利データを用いて、すぐに現場で使える手法を学ぶことができます。

■受講対象者

- ・リスク管理担当者、融資業務担当者、企業財務担当者、スワップディーラー、金融商品担当者、金融システム担当者、金融理論研究者、公認会計士、弁護士並びに今後これらを目指すビジネスパーソンに適したコースです。

■実施スケジュール

- ・第110期：平成30年5月開講、6ヶ月コース、全10回講義＋検定試験（各3時間）

	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	試験
日付	5/17 (木)	5/31 (木)	6/14 (木)	6/21 (木)	7/5 (木)	7/19 (木)	7/26 (木)	8/9 (木)	8/30 (木)	9/13 (木)	10/4 (木)
担当 講師	田 渕										

※時間 18:00～21:00

※会場 シグマインベストメントスクール教室

※第3回と第4回および第6回と第7回は2週連続での実施となります。ご注意ください。

■担当講師陣

講 師 シグマベイスキャピタル株式会社特別研究員フェロー 田 渕 直也 （第1回～10回）

■スワップコース／カリキュラム

I. 基本知識編

第1回 スワップの基礎知識／債券数理①

1. スワップ取引の概要、テクニカル・タームの説明など
2. 複利計算、連続複利、利回り、ゼロ・レート、フォワード・レートなど

第2回 債券数理②／スワップ評価の基本①

1. 現在価値とディスカウント・ファクター
2. 割引債と利付債の関係
3. Boot Strap 法
4. スワップ評価の考え方

第3回 スワップ評価の基本②

1. LIBOR・スワップレートによる金利体系
2. 同金利体系によるディスカウント・ファクター構築
3. 既存スワップの評価
4. LIBOR の現在価値の考え方

第4回 スワップ評価の基本③

1. インプライド・フォワード・レートによる LIBOR の現在価値評価
2. フォワード・スワップのプライシング
3. 異通貨間のスワップ
4. 為替先物によるヘッジと通貨スワップによるヘッジ

第5回 スワップ評価実務

1. 補間技法（線形補間、スプライン補間）
2. より実務的なスワップ評価演習

II. 実務・応用編

第6回 スワップ取引の市場リスク管理

1. 為替エクスポージャー
2. 金利リスクを表す指標
デュレーション、ベーススポイントバリュー(BPV)
3. グリッドポイントセンシティビティ(GPS)
4. Value at Risk の考え方
共分散法、モンテカルロ法、ヒストリカル法
5. ポートフォリオのリスクヘッジ
ベーススリスク、マクロヘッジ

第7回 スワップ取引の信用リスク

1. カウンターパーティー・クレジット・リスク
2. 信用エクスポージャー
カレント・エクスポージャー、ポテンシャル・エクスポージャー、期待エクスポージャーと PFE
3. 担保契約(CSA)、清算機関への集中化
4. CVA (Credit Valuation Adjustments) の基本概念と計算方法
5. CVA リスクのヘッジ
クレジットデフォルトスワップ(CDS)

第8回 スワップ取引の評価の精緻化

1. OIS (オーバーナイト・インデックス・スワップ)
2. OIS ディスカウント
3. テナーベシス
4. 通貨ベシス
5. 金融危機後のスワップ評価方法

第9回 金利オプションの概要

1. オプション取引の基礎
2. 金利オプションの種類
キャップ・フロア、スワップション、債券オプション、先物オプション
3. 金利オプションの理論価格計算の基礎
ブラックモデルとパス依存型、マルチコーラブルスワップの価値計算、モンテカルロ・シミュレーション、イールドカーブモデル
4. ボラティリティについて
5. オプションのリスク管理
デルタ、ガンマ、ベガ、セータ

第10回 その他のスワップ取引

1. コンスタント・マチュリティ・スワップ(CMS)
コンベクシティ・アジャストメント
2. コモディティスワップ
3. エクイティスワップ
4. 仕組債
どのように組成するか、主な商品タイプ

第11回 スワップコース

シグマ1級検定試験

■「研究科」金利モデルコース

村上 秀記 （横浜国立大学 成長戦略研究センター客員教授 経済学博士）

元メリルリンチ証券マネージング・ディレクター、19 年に亘る金利・為替デリバティブトレーダー、ストラクチャリングの経験を経て現職。

1987 年 横浜国立大学経済学部卒業。

一橋大学大学院 国際企業戦略研究科 修士課程終了。

横浜国立大学 国際社会科学部研究科 博士課程終了。

■金融リスク管理コース

藤田 康範 （シグマベイスキャピタル株式会社特別研究員、慶応義塾大学経済学部教授）

慶応義塾大学経済学部卒業。最終取得学位、工学博士（東京大学）。

現在、慶応義塾大学経済学部教授（2010 年 4 月～）。

2008 年 6 月より当社研究開発部特別研究員に就任。

尾藤 剛 （日本リスク・データ・バンク株式会社取締役常務執行役員）

東京大学法学部卒。あさひ銀行（現りそな銀行）を経て、2003 年日本リスク・データ・バンク入社。現在、同社取締役常務執行役員、データベース統括部長としてデータベース運営、およびプロダクト管理に従事。日本証券アナリスト協会検定会員。

主な著書に「ゼロからはじめる信用リスク管理－銀行融資のリスク評価と内部格付制度の基礎知識」（2011 年、きんざい、共著）、「プライムレート革命－脱「貸し渋り」の金融システム」（2009 年、きんざい、共著）などがある。

田渕 直也 （シグマベイスキャピタル株式会社特別研究員フェロー）

株式会社ミリタス・フィナンシャル・コンサルティング代表取締役社長／金融アナリスト

1985 年一橋大学経済学部卒。同年、日本長期信用銀行入行。デリバティブ・ディーリング、商品開発業務に従事後、同行海外証券子会社である長銀インターナショナル（ロンドン）に出向し、デリバティブ・ディーリングデスクのチーフ歴任。

その後、UFJ パートナーズ投信（現三菱 UFJ 投信）のファンドマネージャーとして、運用業務に従事後、株式会社ミリタス・フィナンシャル・コンサルティング設立、現在に至る。

金融関連の啓蒙書、評論多数。

■スワップコース

田渕 直也 （シグマベイスキャピタル株式会社特別研究員フェロー）

※金融リスク管理コース、参照

個人情報保護方針

シグマベイスキャピタル株式会社（以下、「当社」）は、当社の個人情報保護に関する取組方針および取扱いに関する考え方として「個人情報保護方針」（以下、「当方針」）を制定し、公表致します。

取組方針

当社は、個人情報の適切な保護と利用を重要な社会的責任と認識し、個人情報保護に関する関連法令等に加えて当方針を遵守し、お客さまの個人情報の適切な保護と利用に努めてまいります。お客さまからいただいた個人情報につきましては、下記利用目的の達成に必要な範囲において適正に取扱うこととし、お客さまの同意なく第三者に開示・提供することはありません※。

※ただし、法令に基づく場合、人の生命・財産の保護の必要がある場合、警察、裁判所等の公的機関への協力が必要である場合はこの限りではありません。

また、お客さまが、企業派遣・企業申込による場合には、講座運営上必要な範囲において、研修担当者さまおよび企業さまから委託された事務代行会社へ開示する場合があります。

個人情報の定義

当方針でいう個人情報とは、お客さまの氏名、年齢、電話番号、住所、メールアドレス、勤務先等の情報で、このうち一つ、または複数の組合せによりお客様個人を特定することのできる情報を指します。

個人情報の収集目的と利用について

当社は、お客さまから収集した個人情報を、原則として以下の4つの目的で利用させていただきます。

1. 当社各種講座の教材・添削問題の発送、添削問題の採点・成績管理・お問合せ対応、修了証・認定証の発送などの講座運営・受講生管理に利用します。
2. 当社各種講座の受講生が企業派遣・企業申込による場合には、研修担当者さまおよび企業さまより委託された事務代行会社からの受講状況等のお問合せに対して利用します。
3. 書籍、ビデオ等お客さまからご注文致いただいた商品の発送に利用します。
4. 当社からのお客さまに有用と思われる講座案内、商品、サービス等をご案内させていただくために使用させていただく場合があります。

当社ウェブサイトからのお申込に対して

当ウェブサイトでは、プライバシー保護のため、グローバルサイン株式会社の企業認証 SSL を使用し、暗号化通信を実現しています。

SSL 技術を使用することにより、お客様の個人情報が暗号化されて送受信されます。これにより、お客様の大切な情報が盗まれたり、改ざんされたりすることを防止しております。

個人情報の取扱いの委託について

当社では、発送業務（電子メールの送信等も含む）の一部を外部に委託する際、委託先に個人情報の取扱いを委託する場合があります。業務委託先の選定については、個人情報保護水準を十分に満たしていることを条件とすると共に、業務委託先と契約を締結して個人情報の保護を義務付けています。

個人情報の開示等について

お客さまよりお預かりしている個人情報の開示、訂正・追加・削除、利用の停止・消去等のご請求につきましては、適切かつ迅速な対応を行うよう努めてまいります。これらのご請求に関しては、本人確認の手続きをとらせていただきます。

継続的改善

当社は、社会的要請の変化等を踏まえて当方針を適宜見直し、お客さまの個人情報の取扱いについて、継続的に改善に努めてまいります。

お問合せ先

原則、下記メールアドレスをお願い致します。

専用メールアドレス	prvcy@sigmabase.co.jp
担当部署	教育開発部 個人情報保護対策チーム

制定 平成 17 年 3 月 30 日
改訂 平成 24 年 6 月 29 日
シグマベイスキャピタル株式会社
代表取締役社長 清水 正俊

【 FAX 】 03-3665-8192

下記の通り、シグマインベストメントスクール「通学・専門科」に申し込みます。

シグマ	コード	コース名
通学	110-IM	「研究科」金利モデルコース
専門科	110-FR	金融リスク管理コース
研究科	110-SW	スワップコース

※お申込に際して、個人情報保護に関する事項に同意して頂く必要があります。
P13の「個人情報保護方針」をお読みの上、お申込みください。

☐個人 ☐法人 どちらかチェックを入れてください

フリガナ				フリガナ	
法人名 氏名				ご担当者 法人のみ記入	
郵便番号	-			E-mail	
フリガナ					
住所					
電話番号		携帯番号		FAX	
派遣責任者 (成績報告先)	フリガナ			所属 役職	E-mail
	お名前				
		印	TEL		

参 加 者	コード番号	(フリガナ)		所属
		お名前		役職 TEL E-mail
	コード番号	(フリガナ)		所属
		お名前		役職 TEL E-mail
	コード番号	(フリガナ)		所属
		お名前		役職 TEL E-mail

領収証〔 要 不要 〕	宛名： 1. 御社宛 2. その他（ ）
------------------	-------------------------

また、領収証の再発行は致しかねますのであらかじめご了承ください。

* お申込コースの開催が確定次第、入学金・授業料の請求書を送らせて頂きます。なお、定員オーバーの場合は先着順とさせて頂きますのでご了承ください。また、一定の人数に達しないコースは開講しないこともありますので、重ねてご了承ください。

* 当社通信教育講座を修了された方で、所定の基準を満たしている場合は、下記太枠線内に受講番号をご記入ください。

お名前		受講番号			—				—			
お名前		受講番号			—				—			
お名前		受講番号			—				—			

社 用 欄	受付日 / ⑨	受講料	確・連 /	受・送 /
	請求書 /	入・確 /	領収書 /	